

事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 7年 4月 23日

事業所名 とはな

		チェック項目	はい	いいえ	改善点・工夫している点
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%	0%	1日常活動を行うスペースと落ち着いて学習を行うスペースに分け、課題に合った活動ができるよう心掛けています。
	2	職員の配置数は適切である	67%	17%	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	83%	17%	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	100%	0%	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	100%	0%	月に1回、職員会議を行い、状況の把握と今後の予定や対策を検討しています。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%	今回始めて実施しました。今後も定期的にアンケートを実施し、参考にさせていただきます。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0%	ホームページにて掲載しています。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	67%	33%	外部からの評価はしていません。職員間で情報を共有し、改善策を話し合っています。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%	参加可能な限り、研修への参加はしています。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	100%	0%	6ヶ月に1回作成し、保護者様に説明させていただいています。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100%	0%	
	12	児童発達支援計画には、「児童発達支援ガイドライン」の「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	100%	0%	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	100%	0%	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%	子ども達が楽しみに来所してもらえる取り組み内容を考えています。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	室内、室外、製作、お出かけなどバランスよく楽しめる内容を考えています。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	100%	0%	支援計画の内容に関しては、保護者様の意向を踏まえた上で、その子に必要な支援を考え、作成しています。

		チェック項目	はい	いいえ	改善点・工夫している点
関係機関や保護者との連携	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%	毎朝職員間でのミーティングを行い、チームワーク力向上に努めています。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100%	0%	1日の振り返り時間を30分程行い、最終全職員に連絡ツールを使いながら情報共有をしています。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%	1日の様子を全体的と利用者別とで日報に記録をし、支援の方向性などの目安としています。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%	6ヶ月に1回のモニタリングを行い、支援の見直しがあれば新たな支援、目標を立てています。
	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0%	現場責任者である児童発達支援管理責任者が参加しています。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	100%	0%	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	33%	67%	該当児童なし
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	33%	67%	該当児童なし
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	100%	0%	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	100%	0%	必要に応じて、就学前に利用していた保育園、幼稚園等に問い合わせさせていただく事もあります。
関係機関や保護者との連携	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	50%	50%	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	50%	50%	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	67%	33%	子ども部会に毎回、児童発達支援管理責任者が参加しています。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	送迎時や連絡帳を利用し、保護者の方にはご理解をいただいている。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	100%	0%	
運営	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%	契約時に説明させていただいている。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	100%	0%	契約時に説明させていただいている。

		チェック項目	はい	いいえ	改善点・工夫している点
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	保護者の方から直接相談があつた場合、必要な助言をさせていただき、必要に応じて相談先を案内しています。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0%	100%	今後計画していきたいです。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあつた場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	その都度対応しています。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	0%	100%	会報の発行はしていません。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	100%	0%	契約時に書類を交わし、個人情報となる物の保管や掲示に対しての配慮を行っています。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%	文字やイラストでの予定の誘導など、利用者に応じて伝わりやすいものを検討して行っています。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0%	100%	今後計画していきたいです。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	100%	0%	感染症に関してはその都度対応を行っていますが、今後はマニュアルとして整理し周知に努めます。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%	取り組みの中で定期的に避難訓練を行っています。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している	100%	0%	契約時に確認しています。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100%	0%	契約時にアレルギーの有無を確認し、クッキングやおやつの提供時には特に注意を払っています。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%	職員間で事例検討会を行い、対策や防止に努めています。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%	定期的に委員会を行い、状況の把握と対策を話し合っています。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	100%	0%	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。